

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2023年 5 月15日

【会社名】 住友化学株式会社

【英訳名】 SUMITOMO CHEMICAL COMPANY, LIMITED

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岩 田 圭 一

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋二丁目 7 番 1 号

【電話番号】 03(5201)0235

【事務連絡者氏名】 執行役員 経理部長 山 内 利 博

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋二丁目 7 番 1 号

【電話番号】 03(5201)0235

【事務連絡者氏名】 執行役員 経理部長 山 内 利 博

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

## 1【提出理由】

当社および当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### (1) 当該事象の発生日

2023年5月15日

### (2) 当該事象の内容

当社および当社の連結子会社において、一部の固定資産について減損の兆候が認められることから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、減損損失を計上することといたしました。

減損損失を認識した主要な資金生成単位は以下のとおりです。

#### 開発化合物に係る研究開発活動の成果 (dubermatinib)

当社の連結子会社である住友ファーマ株式会社は、急性骨髄性白血病 (AML) を対象としたフェーズ1 / 2 試験 (外部研究機関主導治験) が中止となった後、開発方針検討中であったTP-0903 (dubermatinib) について、開発を継続しないことを決定しました。この結果、TP-0903に係る仕掛研究開発について、20,598百万円 (152百万米ドル) 全額を減損損失として計上しております。

#### メチオニン製造設備

当社は、健康・農業関連事業のメチオニン事業について、原燃料価格高騰によるコスト上昇や、需給環境の悪化に伴う売価下落により損益が悪化したことに伴い、収益予測の見直しを行いました。その結果、メチオニン製造設備の帳簿価額を使用価値17,083百万円まで減損し、15,763百万円を減損損失として計上しております。

### (3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象により、2023年3月期第4四半期の連結財務諸表において、減損損失53,027百万円を「売上原価」、「販売費及び一般管理費」および「その他の営業費用」に計上しております。

また、個別財務諸表において減損損失16,198百万円を「特別損失」として計上しております。